


市長のタウンミーティング 本江地区

(敬称略)

	開催日時	令和元年11月14日(木) 19:00～21:10
	会場	本江公民館
	参加人数	52名
	開会挨拶 書記	本江地区振興会長 米澤 賢太郎 田口 裕里加

市政への提案、意見

番号	地区名	項目	内容
1	本江	財政健全化	予算額169億8千万円に対して基本的な収入が110億円ということですが、その差額はどのような財源で賄われているのか。
2	本江	企業誘致	節約するという話ばかり出ているが、逆に企業誘致などにより人口を増やすなど、収入を少しでも増やそうという積極的な取組はないのか。
3	本江	公共施設	総合体育館の廃止は、単に類似施設があるからいいという単純な問題ではない。子どもから高齢者までの利用者がいる中でありそドーム等でどういう風に代替できるのかといった丁寧な議論が必要ではないか。
4	本江	観光振興	市の観光分野のYouTubeを見るとタグ付けがされておらず、何を発信したいのか分からない。また、外国人観光客を呼びたいのであれば、挨拶はその国の人の言葉に合わせる等、動画に工夫が必要だと思う。また、商工会議所にYouTube発信に詳しい会社の方を呼んで、各会社に考えてもらうというように、市がやるのではなくて、発信したい人が自分で考えて発信していけば良いと思う。そういったところに力を入れてほしいと思います。
5	本江	防災	千曲川氾濫など想定外の災害が数多く起きている。お金ないために本江公民館の建て替えを延期することは理解できるが、予算が無いなりに、防災上のこのような対策を行ったという発言をいただきたい。
6	本江	地域振興	魚津市の人口統計や選挙区の投票場の名前が、本江ではなく、下野方という名称になっているが、地区名が若い人になじみがないので、本江に統一できないか。
7	本江	道路整備	自宅の前の歩道が砂利になり玄関の中まで飛んでくるので直してほしいです。
8	本江	観光振興	各地に訪れた際に会う外国人に、観光地を何で知ったのか聞いてみると、観光ガイドを見ないでSNSで知ったという人がほとんどである。Twitterで魚津と検索しても出てこないのが現状ですが、機会があれば改善してもらいたい。
9	本江	観光振興	魚津インターから降りたところのリンゴ並木に草がたくさん生えているのですが、勝手に抜いていてもいいものなのでしょうか。市に相談すべきでしょうか。

令和元年度 市長のタウンミーティング実施報告書

地区名	本江地区	日時	11月14日(木) 19時00分より 21時10分まで	参加者数	52名
会場名	本江公民館	司会	企画政策課 上田 哲也	書記	財政課 田口 裕里加
市側の出席者	市長 村椿 晃 副市長 四十万 隆一 教育長 畠山 敏一 各部長ほか	地区からの主な参加者	地区振興会長、各種団体関係者ほか		

1. あいさつ

本江地区振興会 会長 米澤 賢太郎

2. 市長談話

市長 村椿 晃

- ① 「行財政改革の推進」について
 - 人口推移・推計・市の目標について
 - 財政状況について
 - 財政健全化計画について
 - ・公共施設の再編及び使用料の見直しについて
 - ・職員数の削減について
 - 産科構想の中止について

- ② 「魚津市総合計画の策定」について
 - 特定政策分野における取組について
 - ・子育て支援
 - ・教育環境の充実
 - ・観光振興
 - ・産業振興
 - ・魅力的なまちづくり
 - 人口減少・高齢社会対策について
 - ・移住・定住の促進
 - ・健康づくりの推進
 - ・誰もが暮らしやすいまちづくりの推進
 - 市民意識調査の結果について
 - 地域づくりの経過と各地区における事業について
 - 次期総合計画の策定について

3. 意見交換（地区からの提言・提案等について）

◆「行財政改革の推進」について

○市の予算について

予算額 169 億 8 千万円に対して基本的な収入が 110 億円ということですが、その差額はどのような財源で賄われているのでしょうか。

（村椿市長）

市の収入は、市が自由に使えるお金と使途が決められているお金の 2 種類に分けられます。魚津市の場合、自由に使える一般財源というお金が毎年約 110 億円あります。一方、使い道が決められているお金のうち、国や県からの補助金は予算全体額の約 2 割で 34～35 億程度です。さらに足りない分を銀行等から借りますが、これも目的が決まっており、ハード整備にしか使えません。道路や建物の整備に借金をするのは、今生きている人だけではなく、子どもたちの時代まで使うので、整備等にかかる費用は各世代間で負担しましょうという考えからです。整備するとき銀行からお金を借りて、返すときにそれぞれの時代で生きている人が返していきます。

今は、学校の建設を行っているので、市債は少し多めで 15 億程度です。10 億にも満たない少ない年もあります。110 億に、国県からの補助金や施設を整備するための市債等を合わせていくと予算総額である 170 億になります。このようにして、毎年予算が組まれています。

○企業誘致などによる収入増について

節約するという話ばかりでていますが、逆に企業誘致などにより人口を増やすなど、収入を少しでも増やそうという積極的な取り組みはないのでしょうか。

（村椿市長）

節約だけではなく、税金を生み出す税源涵養も併せてしなければなりません。分かりやすいものだと企業誘致があります。市民のみなさんは、ここ 10 年以上の間、魚津市に目立った企業誘致がなく、市にあった企業が両隣に出て行ってしまうという動きを肌で感じておられるからか、アンケートでは企業誘致等の産業の取り組みをしっかりとしてほしいという意見がよく書かれています。新しい企業はなかなか難しいのですが、地元にある企業あるいはかつてあった企業がもう一度魚津で創業あるいは拡張という動きがあります。

魚津で、若い人が働ける場所を作っていくことをやっていきたいと思っていますし、自分では今までもやってきたつもりです。ようやくそういうものが、少しずつ現実になってきたというところです。

皆さん産業的なものがあまりないなと心配だったと思いますが、着実に増えてきていますし、これからもそういった取り組みを頑張っていこうと思っています。

○総合体育館に廃止について

総合体育館の廃止は従来から決まっていた方針ではありますが、単に類似施設があるからそれでいいという単純な問題ではないと思います。子どもから高齢者までの利用者がいる中でありそドーム等でどういう風に代替できるのかといった丁寧な議論が必要ではないのでしょうか。また、現在の総合体育館の利用状況等は十分に把握されているのでしょうか。

（村椿市長）

現在の利用状況はしっかり把握しています。競技団体や利用団体ごとに、どういった施

設で代替できるかといった検討も実際に行われています。あとは相手方の団体と丁寧に打ち合わせを行い共通理解に繋げることが大事だと思っていますので、指摘いただいたことは我々も気をつけて丁寧にやっていきたいと思っています。

◆「魚津市総合計画の策定」について

○観光分野の動画について

私は、テレビをあまり見ない YouTube 世代です。魚津市が今まで作成した観光分野の YouTube を見るとタグ付けがされておらず、何を発信したいのか分かりません。また、外国人観光客を呼びたいのであれば、挨拶はその国の人の言葉に合わせる等、動画に工夫が必要だと思います。リアクションが大きい芸人さんに観光地を紹介してもらうのも 1 つの大きな手段だと思います。また、商工会議所に YouTube 発信に詳しい会社の方を呼んで、各会社に考えてもらうというように、魚津市がやるのではなくて、発信したい人が自分で考えて発信していけば良いと思います。そういったところに力を入れてほしいと思います。

(村椿市長)

職員が自分で何かやるというよりも、YouTube の PR 方法に詳しい先生を呼ぶ等して、やれる人を育てる手法が良いと思うので、ぜひ実施しましょう。

○若い世代のイベント等の参加について

このタウンミーティングの場に、20代30代半ばの若い人がいてもいいのではと思います。若者に関心を持ってもらえるような工夫が必要なのではと感じました。また、わが市では、水と緑、特に清流に力を入れているのは分かりますが、若い人も気軽に参加できるイベント等を告知の仕方を工夫しながら実施していけばよいのではないのでしょうか。

(村椿市長)

東山にある円筒分水槽と大町海岸の方の蜃気楼の海岸が国の文化財の登録受けます。全国 5 件の新規登録のうち富山県が 3 件、そのうち 2 件が魚津市です。これはとても素晴らしいことです。

蜃気楼の自然現象という分野は、文化庁が今回新しく認めたジャンルです。円筒分水槽は魚津の水のシンボルです。これを守ったり環境を生かしたりする取り組みを若い人も参加していくことによって、魚津の自然の特性や支えている文化を子どもたちに伝えていくことができます。蜃気楼も現象そのものは自然が生み出しますが、その環境を、世代を超えて守っていきたくと思っています。

○災害対策について

台風 19 号の千曲川氾濫など想定外の災害が数多く起きています。報道を聞いていると、予算がなかったので周知、修理、整備をしていなかったという発言が多く悲しいです。お金ないから、本江公民館の建て替え延期は理解できます。しかし、予算が無いなりに防災上のこういった対策をしましたというような発言を、ぜひおこなっていただきたいと思っています。

(村椿市長)

災害対応は待ったなしだと思います。人の命に関わる問題なので、おろそかにすることはできません。ただし、施設そのものを新しくすることは時間がかかってしま

う面もあるので、どんな対応をソフトでできるのか考えていきたいと思います。

先日、ハザードマップを配りましたが、配っただけでは意味がありません。ハザードマップをもとに、避難所の装備、環境等も皆さんと真剣に考えていきたいと思います。

○地区の名称について

魚津市の人口統計や選挙区の投票場の名前が、本江ではなく、下野方という名称になっていますが、地区名が若い人になじみがないので、本江に統一できないのでしょうか。

(企画総務部長)

昭和 27 年に合併した時に旧の村の名称をそのまま引き継いでいると思います。下野方村だったのが下野方になっています。名称を本江に修正するには、大光寺、友道等の方々も併せての総意での変更となるかと思っています。

○本江公民館建替整備工事について

本江公民館建替整備工事設計業務委託費用が、3 月議会で、予算削除修正により 0 になりました。その時の話では 9 月の公共施設再編方針に向けて確実な議論をしていきたいとのことでしたが、今どのような議論がなされているのでしょうか。来年度予算では何か進展あって見える予算化はされる予定はあるのでしょうか。

(村椿市長)

公民館については、年度末までの公共施設再編方針の議論の中で検討してはっきりさせていくということはありません。ただし、現段階で令和 2 年度予算に計上できるかは、はっきりしていません。公民館の機能と整備方針をセットで今検討しているところです。できるだけ早く具体化できるように我々も頑張っているのですが、ご理解いただきたいと思っています。

○リンゴ並木の県事業について

魅力ある街づくりに向け、かつて県が整備したリンゴ並木の事業に関する事です。今年、初めて小学生のリンゴ摘み取りが、不作により中止となりました。不作の原因には樹木の老齢化等が挙げられます。魚津の玄関、魚津インターから降りてきて 1 番始めに見えるリンゴ並木は、インバウンドの人も感動される方も多いため、あくまでも県の事業ではありますが、活動が維持してもらえるように、ぜひ市からも働きかけていってほしいです。

(村椿市長)

リンゴ並木はシンボリックなので、県と連携して光景を子どもたちにも残していきたいと思っています。また、摘み取りできるように県と連携して協力して頑張っていきたいと思っています。

○歩道の整備について

夏頃に要望していた歩道の整備の件ですが、自宅の前の歩道が砂利になり玄関の中まで飛んでくるので直してほしいです。

(産業建設部長)

要望箇所については、口頭ではお返事しましたが、現場の状況の確認が必要な箇所がたくさんあり、後日書面にまとめて本江地区のみなさんに返答したいと思っています。

○外国人の観光客誘致について

各地に訪れた際に出会う外国人に、観光地を何で知ったのか聞いてみると、観光ガイドを見ないでSNSで知ったという人がほとんどです。Twitterで魚津と検索しても出てこないのが現状ですが、機会があれば改善してもらいたいと思います。

(村椿市長)

外国人にも分かりやすく知ってもらえるための取組は、個人でやっても効果が少ないので、市や他と連携して統一して行う取組を、皆さんのご意見も参考にやってみたいと思います。

○魚津インター線の雑草について

魚津インターから降りたところのリンゴ並木に草がたくさん生えているのですが、勝手に抜いていてもいいものなのでしょうか。市に相談すべきでしょうか。

(村椿市長)

1年中きれいにすることは経費の問題もありなかなか難しいと思いますが、行事や観光シーズンなど効果的なタイミングで、関係機関などに声掛けをしてきれいにしていきたいと思います。みんなできれいにすることを意識してやっていきましょう。